

「卵巣がん検診」結果の論文文化に伴うご許可に関する告知

関係各位殿

日本産科婦人科学会静岡県地方部会並びに日本産婦人科医会静岡県支部は1980年から地域がん登録を開始し、その後21年間にわたり約11万人を対象に「卵巣がん検診」を実施してまいりました。

この度、子宮内膜症から卵巣癌を発症された患者様について、ホルモン治療が発がんを阻止できるかに関して調査し、その結果を学術論文に公表させていただくことになりました。本来なら患者様すべてに文書で同意をいただくべきですが、すべての患者様に同意を得ることは困難な状況であります。これらの事情より本研究を進めるに当たりご許可をお願い申し上げる次第です。なお、個人情報については特定されることはありません。

万一、この件に関しましてご了承いただけない場合、あるいはご不審の点がある場合は、2011年11月30日までに下記まで文書または電子メールでお申し出下さい。このお知らせが皆様の目に触れることを前提としておりますが、何らかの事情でこの件をお知りになる機会がなかった場合には、期限を過ぎましても、あらためて個別にご相談させていただく所存です。なお、お申し出のない場合には、ご了承いただいたものとし、論文を掲載させていただきたいと存じます。何卒、患者様各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

奈良県立医科大学産婦人科

小林 浩

hirokoba@naramed-u.ac.jp

TEL 0744-29-8877

FAX 0744-23-6557

住所：〒634-8522 奈良県橿原市四条町 840